

千葉県町村会

千葉県町村会では、平成26年にスタートした特別区全国連携プロジェクトに平成29年1月19日に連携協定を締結し、今年で早7年が経過いたしました。その間、魅力発信イベント等へ参加することにより、他地域との交流を図ることができました。

人口減少・少子高齢社会の中、様々な行政課題を抱える全国の自治体がともに繁栄し共存していくためには、それぞれの地域の特色を生かし、互いに手を取り合い歩み寄りながら、地域活性化に取り組む姿勢が一層求められます。

今後も特別区全国連携プロジェクト等を通じて、全国の各地域と連携し、活動して参りたいと思います。



特別区長会と千葉県町村会は、平成29年1月19日に広域連携協定を締結しました。

ちばはおいしいニュースにあふれている。

ちばは海産物の宝庫 (千葉市 九十九里町 白子町 長生村 一宮町 御宿町 飯沼町)

千葉県は、太平洋に突き出た半島になっており、三方を海に囲まれています。約534キロメートルに及び海岸線は変化に富み、沖合域を交差する黒潮、親潮の影響も受けて、豊かな漁場と多様な水産資源に恵まれています。

千葉県の四季のさかな (平成12年度測定)

春	夏	秋	冬
マダイ 正真正正のマダイの魚は、マダイ、チダイ、キダイ、クロダイ、ヘダイの5種類です。平成元年には、これを総称し「マダイ」を魚の魚に選定しました。	スズキ 種類ととりにせいで、フッコ、スズキと名前が変わる出巻魚で、千葉県の名産魚は日本一です。この魚は、比較的低温に強い白身魚です。	サンマ (サワリ) 【サワリ】の名称は、形も色も似ていますが、産地は、8月中旬頃に南下する北太平洋で漁獲し、冬にかけて、東北には親子沖で漁獲にのびます。	キンメダイ 水深200～500mの深場に棲むため目と口が大きく、名の由来も黄金色に輝く大きな目が由来です。骨が硬く、肉は、固めに煮ます。
カツオ 典型的な紡錘形で、背中に黒い線があり、側面が銀色の輝きがあります。背骨のまわりの骨は、硬く、柔らかくはなりません。	マイワシ 千葉県の代表的なさかなの一つとして広く知られていますが、白身魚や油魚の間に含まれていることから、魚卵を産む魚と誤解されています。	イセエビ 千葉県は、日本一のイセエビの産地です。昔からお祝いの際には欠かせないものの一つです。【閉居】漁業などで漁獲されます。	ヒラメ 自身の高品質として寿司などにも珍重されています。特に、冬には「節どろり」といわれ、身が柔らかく、味が絶妙です。
アサリ アサリは、約200の干貝が多く、産地は「葉子干貝」でも知られています。厚みがあり、歯ごたえがあり、味がおいしいです。	アワビ サザエと同様に一般から知られる魚貝の中で、海産の多い魚貝の中で、アワビは、生食や煮付けや海女が使われることが多いです。	サバ 日本近海には、マサバとコマサバが主要な種類です。サバの脂肪分には、特に脳細胞の機能を高め、記憶力を向上させる効果があるDHAが豊富に含まれています。	ブリ 関東ではワカシ、イナダ、ワラサリと名前が変わりますが、冬には「節どろり」といわれ、身が柔らかく、味が絶妙です。

ちばはおいしいニュースにあふれている。

ちばのお酒 (千葉の地酒は、酒造りの個性が強い。匠の酔い酺を楽しんでみて。)

豊乃鶴酒造 (大多喜町)
豊乃鶴酒造の「庄家造りの母屋」や「赤レンガの煙突」、「元精米所」等は国の有形文化財に登録されており、また、酒造りの手づくり製法にこだわった酒造りにはファンも多く、代表銘柄の「大多喜城」と創業の地名を冠した「鶴神」は、キレの良い辛口でありながら、しっかつと日本酒本来の旨味を楽しめると評判です。

酒造 神崎酒造 (神崎町)
創業元禄2年(1689年)創業。杜氏制を止め自分たちの手で酒造り始めてから早20年、全国新酒鑑評会での金賞受賞は16回を超え、2015年は世界における審査の権威と言われるインターナショナルワインチャレンジ日本酒部門において不動の純米大吟醸が金賞を受賞した。「酒人」心、心に響く酒造るのがモットーです。

寺田本家 (神崎町)
近江で創業した「寺田本家」は、江戸・延宝年間に神崎に移り、以来約300年を経て酒造りを行ってきました。原料米は全て無農薬・無化学肥料栽培。契約農家が丹精込めた米と、蔵人たちが自社田で収穫した米を原料に、蔵内の湧水を仕込み水として使用した昔ながらの「生もろり」で酒造っています。「五人娘」「香取」は、雑穀を一切ない無雑穀でお届け。自然な琥珀色を醸したこの酒は、身体に優しい乳酸菌の芳醇な酸味とコクのある味わいが特徴です。

稲花酒造 (一宮町)
文政年間(1818年～1830年)には酒造業を営んでいたといわれており、明治の頃から吟醸酒を手がけている稲花酒造。伝承される高い技術を守りながら、最新の技術も積極的に取り入れた商品づくりにチャレンジし、香豊かな味わいのある酒造りを行っています。代表銘柄である「純米かもし酒 稲花正宗」は、ソフトな口あたりとすっきりとしたのど越しが絶妙で、飲み飽きることがないと愛飲家に親しまれている一品です。

ちばはおいしいニュースにあふれている。

日帰りでもOK ちばの温泉

意外なことに千葉県には200以上の温泉があります。東京から近く、海や山の眺望も良く、何よりも「成分」で選ばれている千葉の温泉。花摘み、釣り、ハイキング、サーフィン、ドライブなど、千葉で楽しんだあとは、温泉にゆっくりつかってみませんか。

【白子町】白子温泉
白子温泉は、雄大な九十九里浜を望む白子町の前身に自湧しています。自然に恵まれた砂浜の静けさを感じながら温泉を楽しむことができます。敷地内には、白子温泉の歴史を伝えるナトリウム塩化カルシウム温泉施設があります。効能は切り傷、やけど、慢性皮膚病、虫咬症、慢性肺炎、神経痛、筋肉痛、腰痛、五十肩、冷え症、疲労回復などに効くといわれています。

【大多喜町】養老渓谷温泉
【養老渓谷】は、黒潮が湧き出すことで有名です。ぬめりある湯質は、色の美しいこともさることながら、肌を癒す効果も期待することができます。最近開かれた露天風呂や清流沿いの風呂などがあります。また、養老温泉は、大津市と市原市にまたがり、県内で唯一温泉地帯に形成されている温泉地帯です。最近、若い人たちに、ハイキング、サイクリングやアウトドアのキャンプ、ドライブの途中で一息おまかせ、白雲に誘われて人気です。

【御宿町】御宿町の温泉
御宿は、全長2kmの白砂ビーチが広がる人気の海岸で、夏は「月の砂浜」の名所となつて定評があります。温泉施設は「宝の湯」で、伊勢エビ・あじが「御宿」の魚と直接仕入れる新鮮な魚介類を味わいながら楽しむことができます。ゆっくりとくつろげる空間があります。また、全国でも屈指の温泉2位という温泉もあり、近隣から多くの温泉客が訪れます。

【一宮町】
温泉の泉質はナトリウム塩化カルシウム温泉です。効能は神経痛、筋肉痛、腰痛、五十肩、運動障害、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性胃炎、痔疾、肩こり、冷え症、慢性腰痛、慢性肺炎などに効くとされています。

平成29年度 第2回全国連携展示にて、千葉県の町村を紹介する展示を行いました!